

2025年度 聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ研究助成金公募要領



ダイバーシティ・キャリア支援センター

目次

1. 公募の概要	P 1
2. 公募から交付までの予定スケジュール	P 1
3. 公募の内容	P 1
4. 提出書類	P 1
5. 応募資格	P 2
6. 経費	P 2
7. 公募の対象とならない研究計画	P 3
8. 研究費の使用についての留意事項	P 3
9. 研究成果について	P 3
10. その他	P 4

1. 公募の概要

ダイバーシティ研究助成金は、女性研究者およびライフイベント(育児)中^{*}の研究者のために学内での研究を活発にする目的で定められた助成金である。応募対象者は2025年5月1日現在、本学に勤務している講師または助教(非常勤講師を除く。特任講師・特任助教、任期付助教を含む)で、女性研究者およびライフイベント(育児)中^{*}の研究者とする。

審査委員(ダイバーシティ・キャリア支援センターが推薦する者)はダイバーシティ研究助成金の審査(書類審査および対面によるヒアリング審査)を行い、助成対象者を選定する。

※ライフイベント(育児)中とは、小学校3年生までのお子さんをお持ちの方
(詳しくはダイバーシティ・キャリア支援センターまで、お問い合わせください。)

2. 公募から交付までの予定スケジュール(2025年度)

5月1日(木)～ 5月30日(金)	ダイバーシティ研究助成金申請期間
6月～7月	審査委員において書類審査および対面によるヒアリング審査
7月～9月	ダイバーシティ・キャリア支援センター運営委員会において採択者を承認
7月～9月	主任教授会において報告
7月～9月	申請者へ審査結果の通知およびダイバーシティ研究助成金の使用開始
2026年2月末	ダイバーシティ研究助成金の執行期限
4月下旬	ダイバーシティ研究助成金実績報告書提出締切
5月以降	ダイバーシティ研究助成金で得られた研究成果を、聖マリアンナ医科大学医学会学術集会で発表

※スケジュールは適宜変更する場合があります。

3. 公募の内容

- ① 助成額：1件の助成額は上限40万円、2件程度とする。
- ② 研究期間：単年度

4. 提出書類

- ① ダイバーシティ研究助成金研究計画調書
- ② ダイバーシティ研究助成金経費使用計画書

※研究計画調書および経費使用計画書以外は提出しないでください。

※提出書類の情報は細心の注意を払って管理し、本審査のみに利用します。

5. 応募資格

次の A または B の要件を満たし、今後も本学に在職し本学のダイバーシティ推進に貢献いただけることが条件となります。ただし、過去にダイバーシティ研究助成金を受給した者、現在科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）、学内研究助成金、およびがん関連研究助成金に採択中の者は申請対象外となります。（科学研究費助成事業、学内研究助成金およびがん関連研究助成金に応募中の者は本助成金に応募可能ですが、採択が判明した時点で本助成金の審査対象外となります。）

A 2025年5月1日現在で本学に勤務している女性の講師または助教(非常勤講師を除く。特任講師・特任助教、任期付助教を含む)であること。

B 2025年5月1日現在で本学に勤務している講師または助教(非常勤講師を除く。特任講師・特任助教、任期付助教を含む)で、ライフイベント(育児)中であること。

※ライフイベント(育児)中とは、小学校3年生までのお子さんをお持ちの方

- 本助成金は、申請者が個人で行う研究が対象となります。
- 研究期間中に常勤教員でなくなった場合は、その時点で、本助成金に基づく研究は終了していただきます。研究終了後に発注した物品等の本助成金からの支出は不可となります。なお、研究終了後1か月以内を目途に、「ダイバーシティ研究助成金実績報告書」および「ダイバーシティ研究助成金収支簿」をご提出いただきます。

6. 経費

(1) 対象となる経費（直接経費）

研究計画の遂行に必要な経費を対象とします。

【対象となる主な経費】

機器備品費	実験用機器(一年以上耐久し反復使用可能)で、一点または一組の取得価格が20万円以上のもの
用品費	実験用機器(一年以上耐久し反復使用可能)で、一点または一組の取得価格が5万円以上20万円未満のもの
消耗品費	試薬、実験動物、チップ・チューブ等 実験用機器で、上記の機器備品・用品の定義に当てはまらないもの
印刷製本費	印刷費(別刷含む)、複写費、現像・焼付費、学会誌投稿料、研究成果広報用パンフレット作成費用等
通信運搬費	通信費(切手、電話等)
検査委託費	検査委託に係る費用等(10万円未満)
その他の委託費	システム開発等に係る業務委託等(10万円未満)

(2) 対象とならない経費

次の経費は対象となりません。

- ① 「旅費」および「謝金」
- ② 建物等の施設に関する経費（直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付費等のための経費を除く。）
- ③ 通常、研究機関で備えが必要な備品を購入するための経費（机、椅子、キャビネット等。）
- ④ 助成研究遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ⑤ 委託費のうち、1回の発注金額が10万円以上となるもの
- ⑥ 学会参加費等
- ⑦ 賃借料、修繕費、各種保守料等

7. 公募の対象とならない研究計画

次の研究計画は公募の対象としていません。

- ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画
- ② 商品の開発・販売や役務の開発等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）
- ③ 他の助成金を受けて行う受託研究

8. 研究費の使用についての留意事項

- (1) ダイバーシティ研究助成金は上記6. 経費、7. 公募の対象とならない研究計画に定める使用方法に従う他、学内での補助金等の運用を定めた「聖マリアンナ医科大学公的研究費取扱規程」を参照の上、使用して下さい。
- (2) 申請課題以外への経費の流用はできませんのでご注意ください。
- (3) 年度途中で研究を中断する場合や年度内に助成金を使い終わらない場合は、研究費を大学へ返還することとなります。研究費の次年度への繰越は出来ませんのでご注意ください。
- (4) 研究計画調書・経費使用計画書に記載した研究経費とは異なる費目で経費を使用したい場合は、必ず事前にダイバーシティ・キャリア支援センターまでご相談ください。

9. 研究成果について

- (1) 翌年度の提出締切日(4月下旬)までに「ダイバーシティ研究助成金実績報告書」および「ダイバーシティ研究助成金収支簿」をダイバーシティ・キャリア支援センターへ提出してください*。
- (2) 毎年開催される「聖マリアンナ医科大学医学会学術集会（正会員として登録していただく必要があります）」にて研究成果の発表を行っていただきます*。
- (3) 翌年度以降数年間、当該研究に関しての論文および学会発表、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）や学内研究助成金の採択状況等について報告をお願いすることがあります。

※上記(1)および(2)に係る研究成果内容が特許等の出願案件に該当することが判明した場合は、必ずダイバーシティ・キャリア支援センターまでご連絡ください。

10. その他

- (1) 採択者には、ダイバーシティ・キャリア支援センターが行うダイバーシティ推進のための活動に協力をお願いする場合がありますことをご了承ください。

連絡先：ダイバーシティ・キャリア支援センター(東館1階 人事課内)

内線3952、career@marianna-u.ac.jp